

# NTC自転車競技強化拠点 における活用について

Japan Keirin School

South 400m Track

333m Track

250m Track

MTB course

BMX course

Weight training room

5km Road course

Cytel (Hotel)

Japan Cycle Sports Center

North 400m Track

Izu Velodrome

面積：168m<sup>2</sup>(51万坪)  
標高：220m～420m

# オリンピック自転車競技(4種目) 全てがトレーニング可能な環境

## トラック競技

- 400m・333.3m・250m

## ロード競技

- 5Km・3Kmサーキットコース

## MTBコース

- 全長2.5Kmクロスカンントリーコース

## BMXコース

- 全長325.5m、高さ5.6mのスタートヒル

# トラック競技



Izu Velodrome



400m Track



250m Track (Outdoor)



333.3m Track

# ロード・MTB・BMXコース



5km Road course



BMX Course



MTB Course

# 付随する関連施設



台上走行試験(日本競輪学校)



宿泊施設「サイテル」



ウェイトトレーニングルーム

# 平成29年度 中央競技団体による施設利用実績

## オリンピック

(1) 男子トラック短距離ナショナルチーム強化合宿	172日
(2) 女子トラック短距離ナショナルチーム強化合宿	172日
(3) 男子トラック中距離ナショナルチーム強化合宿	60日
(4) 女子トラック中距離ナショナルチーム強化合宿	60日
(5) 男子ジュニアナショナルチーム強化合宿	32日
(6) 女子ジュニアナショナルチーム強化合宿	32日
(7) 強化合宿時以外のNF強化対象選手による練習	10日
(8) (1)～(7)以外でのウェイトトレーニング	151日
(9) マウンテンバイク競技強化合宿	4日
(10) BMX競技強化合宿	0日
(11) ユースオリンピック強化合宿	0日

実日数：253日

延日数：429日

※トラック短距離及び中距離は、男女合同合宿のため、延べ日数は合宿日数のカウントとする。

## パラリンピック

(1) パラリンピック競技ナショナルチーム強化合宿	66日
(2) 強化合宿時以外のNF強化対象選手による練習	1日

実日数：67日

延日数：67日

# トップアスリートが施設を利用するための環境整備

(1)NFが指定する強化対象選手が施設を利用するに当たり、一般利用者のために供されてる設備備品とは別に必要となるトレーニング機器等物品の導入及び管理

## ウェイトトレーニングの機器配置

平成28年11月に就任したナショナルトラック短距離チームのヘッドコーチであるブノア・ベトゥ氏、コーチのジェイソン・ニブレット氏の両コーチの指導方針の下、世界の強豪たちのパワーに対抗するためには、ウェイトトレーニングが絶対不可欠のため、毎週月、水、金曜日の午前中は、本センターのジムにおいてフィジカルトレーニングを実施した。その際に、同チームは、平成29年度に当該事業にて配備した次の機器を最大限利用して、そのパワーアップを図った。

## 配備機器

- ・レッグプレス
- ・グレートハムベンチ
- ・62° スミスマシン



# トップアスリートが施設を利用するための環境整備



レッグプレストレーニングの様子



グレートハムベンチ



Gym Aware の画像表示



62° スミスマシン

# トップアスリートが施設を利用するための環境整備

(2)NFが実施する選手強化活動時における、スポーツ医・科学・情報等のサポートスタッフの配置

- ①メカニックの配置(オリンピック・パラリンピック)
- ②管理栄養士の配置(オリンピック・パラリンピック)
- ③トレーナーの配置(オリンピック・パラリンピック)
- ④義士装具士の配置(パラリンピック)
- ⑤メンタルサポート専門家の配置(パラリンピック)



メカニックの作業風景



メンタルサポートの専門家の講義

# トップアスリートが施設を利用するための環境整備

(3) 医・科学・情報等のサポートを実施するに当たり、必要となる物品の導入並びにサポート環境の整備

- ① 医科学サポートにおいて必要な施設及び備品等を提供。
- ② 伊豆ベロドローム内に整備室や機材庫など通年使用できる部屋を確保するとともに、トレーニング時に様々なデータ分析やコーチが各種作業できるコーチ室等を貸与している。



パラサイクリング用機材庫

# 関係機関との調整及び情報収集／発信

(1)NFが指定する強化対象選手が施設を優先利用するための利用調整業務

①オリンピックナショナルの短距離、中距離チーム、ジュニアチーム、パラリンピックナショナルチーム、競輪学校訓練、大学生や高校生の強化合宿など、1年を通して、ほぼ毎日稼働している伊豆ベロドロームをオリンピック・パラリンピックのナショナルチームを優先的に利用できるよう、関係団体との連携を密にして、利用調整を図っている。

②オリンピック・パラリンピックの両ナショナルチームが希望するトレーニング施設を利用できるように、利用希望日が、休館日や時間外の際にも、職員の時差出勤や休日出勤により、円滑に同チームのトレーニングが実施されるよう施設の開閉などに協力している。

# 関係機関との調整及び情報収集／発信

(2)NF、JOC又はJPC、国立スポーツ科学センター、地域のスポーツ医・科学センター、大学並びに行政等関係機関との連絡調整業務

①競技別NTC拠点活用推進委員会の実施(年間4回)

委員会メンバー:施設、NF(オリンピック・パラリンピック)、JOC

②JOCの拠点ネットワークワーキンググループへの出席

③隣接する日本競輪学校との連携

④本センターの医務室、産業医及び近隣医療機関や消防署等との連携

⑤静岡県や伊豆市などの地元行政と協働により、自転車競技に関する啓発イベント等の開催



静岡県主催パラサイクリング体験イベント

サポートは、パラリンピックメダリスト藤田選手

# 関係機関との調整及び情報収集／発信

(3) 利用調整、関係機関との連絡調整及び連携体制の整備に関する業務に必要なとなるマネジメントスタッフの配置

① 自転車競技に精通した本センターの職員をスタッフに充てることで、ナショナルチームの強化トレーニングが円滑に進むよう協力している。伊豆ベロドローム内の電気計時システムの利用希望などがある場合は即座に対応できるような体制を整え、その要望に応えるようにしている。



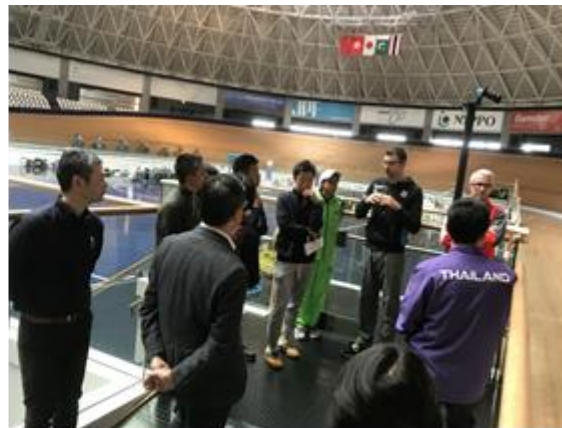
本センタースタッフがナショナルチームの  
トレーニングにおいて電気計時システムをオペレーション

## 関係機関との調整及び情報収集／発信

(4) JOC・JPC等スポーツ関係機関が実施する各種セミナー等への参加による、NTC競技別強化拠点施設関連情報の収集及び発信

- ① JOC主催のセミナーや合同ミーティングへ本センターの担当職員を出席させ、他拠点との連携ネットワークの構築を図っている。
- ② アジアの拠点としてIFから指定されていることから、世界の各種情報に関してNFとの情報共有を行うようにしている。平成29年11月には、IFのトレーニングセンターであるワールド・サイクリング・センター(WCC)からの要望で、パラサイクリングコーチのための養成コースが本センターにおいて開催された。日本からは、5名が参加し、本センターのスタッフがアシスタントインストラクターとして開催に協力した。
- ③ 「CSC NEWS LETTER」を定期的に発行し、競技別強化拠点の出来事やナショナルチームの競技成績等を中心に各種情報を外部へ配信している。

# 関係機関との調整及び情報収集／発信



UCI WCC パラサイクリングコーチングコース  
WCCのインストラクターから様々な情報を得ることができた



### UCIトラックワールドカップ女子チームパシュートで銅メダル獲得!

このほど、イギリス・マンチェスターで開催されたトラックワールドカップ第2週の女子チームパシュートにおいて、日本チームが、堂々の銅メダルを獲得した。銅メダルの日本記録は、今年中に実施予定であったトラック世界選手権大会における4分49秒98であったが、本大会では予選のみでの1分12秒の本大会日本記録を更新、1分12秒48のタイムで銅メダルを獲得した。日本代表トラック代表チームは、今年10月に、UCIワールドカップ「オーストラリア」を記念大会として、堂々優勝することとなり、銅メダルは、予選タイムの倍であるため、今後のさらなる活躍が期待される。



日本代表トラック代表チームメンバー  
（写真: Yusuke Miyake / JCF）



銅メダルの選手  
（写真: Takashi Waki / JCF）

### ウェイトトレーニングジムにレッグプレス導入

本センターでは、競技別によりフィジカルチームから選手が所属するジム・クラブを順次導入している。本館導入した機器は、POWER LEG PRESS USA製で、従来のマシンとは、異なる構造の構造であり、自転車競技の練習に合わせた機能が搭載されている。特に、トラックワールドカップ代表チームに所属する選手は、Power Leg Press USA製のウェイトトレーニングマシンに置き換えており、月曜日、水曜日、金曜日の午前中は、必ずトレーニングを実施している。昨年夏に導入されたこのウェイトトレーニングマシンは、選手たちのトレーニングが実施されている。選手たちは競技別にも導入を検討しており、近頃の中心競技とともに、2026年選手センターでの活躍が期待される。

トラック代表選手チームのトレーニング風景



### 河津朋之選手、トラック世界選手権大会で25年ぶりの快挙!

トラック競技のキーンシーズンを締めくくった2024年UCIトラック世界選手権大会が、2月28日から3月4日までオーストラリアのメルボルンにおいて開催された。従来の日本選手権トラックチームの選手は、世界選手権でもおなじみだが、今年大会は、河津朋之選手が、オーストラリアで堂々の銅メダルを獲得した。世界選手権大会におけるUCIワールドカップでの予選タイムは、2019年本大会に銅メダルを獲得した河津朋之選手以来、実に25年ぶりの快挙である。これは、25年ぶりだった。2024年選手センターの自転車チームの活躍が注目されており、期待が高まっている。河津選手は、自転車競技の歴史の中で、自らの熱いトレーニングを踏まえてきた選手でもあり、その実績もまた、河津選手にも、河津選手らしい快挙であった。今後も、河津選手が、活躍できるような環境の整備が期待されている。



河津選手が活躍したトラック競技の様子  
（写真: UCI/YouTube）



河津選手が活躍したトラック競技の様子  
（写真: UCI/YouTube）

### 62° スミスマシンでのトレーニング

本センターでは、フィジカルチームの選手が所属するジム・クラブを順次導入している。本館導入した機器は、POWER LEG PRESS USA製で、従来のマシンとは、異なる構造の構造であり、自転車競技の練習に合わせた機能が搭載されている。特に、トラックワールドカップ代表チームに所属する選手は、Power Leg Press USA製のウェイトトレーニングマシンに置き換えており、月曜日、水曜日、金曜日の午前中は、必ずトレーニングを実施している。昨年夏に導入されたこのウェイトトレーニングマシンは、選手たちのトレーニングが実施されている。選手たちは競技別にも導入を検討しており、近頃の中心競技とともに、2026年選手センターでの活躍が期待される。

トラック代表選手チームのトレーニング風景

「CSC NEWS LETTER」を定期的に発行し、各種情報を外部へ配信している。



## 地元行政や教育機関との連携による競技体験等の実施

- ①静岡県三島市が主催するタレントID事業「みしまジュニアスポーツアカデミー」の自転車競技体験プログラムの受け入れを実施している。
- ②静岡県立伊豆総合高校のライフスポーツ(選択体育授業)として、自転車競技の体験を平成23年度から実施している。
- ③地元小中学校を対象に自転車競技体験を実施。平成29年度は熊坂小学校(伊豆市)、大仁北小学校(伊豆の国市)からの要請により、体験会の受け入れを行った。

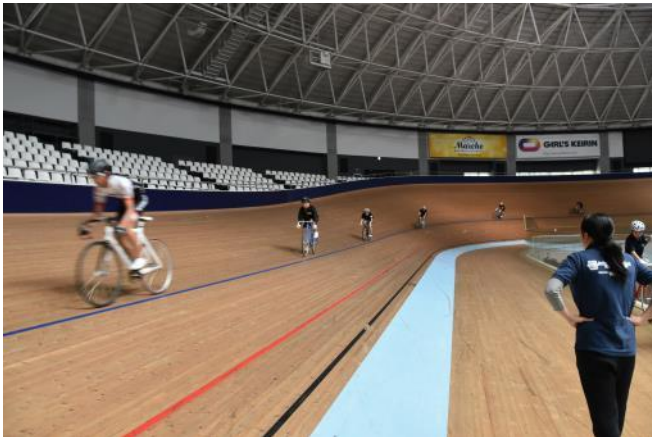


伊豆総合高校のライフスポーツ(選択体育授業)

# 地元行政や教育機関との連携による競技体験等の実施



伊豆総合高校のライフスポーツ(選択体育授業)



「みしまジュニアスポーツアカデミー」の自転車競技体験プログラム

# 平成29年度 主な国際大会における結果

- ①2018UCIトラック世界選手権大会(平成30年3月:オランダ・アペルドールン)
  - ・河端朋之選手...男子ケイリン 銀メダル
  
- ②2017-2018UCIトラックワールドカップ
  - 第2戦(平成29年11月:イギリス・マンチェスター)
    - ・女子チームパーシュート(梶原、中村、橋本、古山)...銅メダル
  - 第3戦(平成29年12月:カナダ・ミルトン)
    - ・梶原悠未選手...女子オムニアム 金メダル
  - 第4戦(平成30年1月:チリ・サンティアゴ)
    - ・脇本雄太選手...男子ケイリン 金メダル
    - ・梶原悠未選手...女子オムニアム 金メダル
    - ・橋本英也選手...男子オムニアム 銀メダル
    - ・男子チームパーシュート(近谷、今村、一丸、沢田)...銀メダル
    - ・女子チームパーシュート(鈴木、中村、橋本、古山)...銅メダル
  
- ③2018 アジア自転車競技選手権大会
  - (平成30年2月:トラック・マレーシア、平成30年2月ロード・ミャンマー)
  - ・トラック及びロード種目併せて 金メダル10個、銀メダル2個、銅メダル2個

# 平成29年度 主な国際大会における結果



河端選手 世界選 男子ケイリン 銀メダル  
左: ブノアヘッドコーチ、右: ジェイソンコーチ



ワールドカップ第2戦 女子チームパーシュート  
銅メダル



梶原選手 ワールドカップ第3戦  
女子オムニアム 金メダル



脇本選手 ワールドカップ第4戦  
男子ケイリン 金メダル

# 平成29年度 主な国際大会における結果



梶原選手 ワールドカップ第4戦  
女子オムニアム 金メダル



橋本選手 ワールドカップ第4戦  
男子オムニアム 銀メダル



男子チームパーシュート ワールドカップ第4戦  
銀メダル



女子チームパーシュート ワールドカップ第4戦  
銅メダル

# 平成29年度 主な国際大会における結果

## パラリンピック

### ①2017UCIパラサイクリングロード世界選手権大会

(平成29年9月:

南アフリカ共和国・ピータープリッツバーグ)

- ・野口佳子選手...ロードタイムトライアル 金メダル  
ロードレース 銅メダル

### ②2018 アジアパラトラック自転車競技選手権大会

(平成30年2月:マレーシア)

- ・川本翔大選手...インディビデュアルパーシュート  
金メダル  
1kmタイムトライアル 銀メダル
- ・野口佳子選手...インディビデュアルパーシュート  
金メダル  
500mタイムトライアル 金メダル



野口選手 パラロード世界選  
ロードタイムトライアル 金メダル